

宮城県公文書館年報

第1号

平成13年度

宮城県公文書館

Miyagi Prefectural Archives

公文書館の概要

1	設置目的	1
2	業務内容	1
3	設置までの経緯	1
4	組織	3
5	業務内容	3
6	予算	3
7	施設・設備	3

平成13年度事業の概要

1	収蔵・収集状況	6
2	調査	7
3	整理	7
4	保存対策	7
5	利用状況	8
6	広報普及	10

平成14年度事業計画	13
------------	----

公文書館の概要

1 設置目的

宮城県公文書館は、「宮城県公文書館条例」(平成12年宮城県条例第132号)に基づき設置された施設であり、歴史資料として重要な公文書等を継続的に収集・保存し、県民共有の文化遺産として後世に伝えると共に、開かれた県政の一環として収蔵資料を広く公開することを目的とする。

2 業務内容

公文書館の主な業務は次のとおりである。(宮城県公文書館条例施行規則第2条)

- (1) 歴史的価値を有する公文書その他の記録(以下「公文書等」という。)の保存に関すること。
- (2) 公文書等の閲覧その他の利用に関すること。
- (3) 公文書等の調査研究に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、公文書館の設置の目的を達成するために必要な事業。

3 設置までの経緯

昭和63年、公文書館法が施行され、地方公共団体における公文書等の保存・管理・閲覧の業務が明確化され、法の制定を契機に公文書館の建設機運が全国的に高まってきた。

本県においても平成3年7月に学識経験者などを構成員とする「宮城県公文書館(仮称)建設懇話会」を設置し、本県公文書館のあるべき姿について検討を重ね、平成4年3月には、知事に対し「国際化、情報化等の一層の進展に対応できる、宮城県らしい特色のある公文書館が早期に建設されることを期待する」との提言がなされた。

この提言を受け、平成5年3月「情報提供機能をもつ公文書館と公文書の開示機能と情報提供機能を併せ持つ県政情報センターを「宮城県総合情報センター・公文書館(仮称)」として一体的に整備する」との基本構想を策定し、以後、構想に基づく具体的検討を進めてきたが、景気の後退等により建設計画が延期されてきた。

その後、県立図書館の移転に伴い、既存施設の有効利用を図るとの観点から、旧県立図書館を改修し、「公文書館」とNPO活動を総合的に支援・促進する「みやぎNPOプラザ」並びに生涯学習を支援する「生涯学習セミナールーム」との複合施設として整備することとなり、平成13年4月21日オープンした。

(経過)

昭和63年 6月	公文書館法施行
平成元年度～	保存期間満了文書の中から歴史的・文化的価値の高い公文書の選別・収集・保存を開始
元年11月～ 2年 3月	宮城県公文書館構想庁内ワーキンググループを設置する。
2年10月～ 3年 3月	宮城県公文書館(仮称)建設検討委員会及び建設検討ワーキンググループを設置する。

3年 7月 ~ 4年 3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会を設置する。（有識者7名）
4年 3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会から知事へ公文書館建設について提言する。
4年10月 ~ 5年 3月	宮城県総合情報センター・公文書館（仮称）建設基本構想を策定する。
5年 4月	他施設（国際交流プラザ）との併設を検討する
9年 7月	新図書館建設による旧図書館利活用庁内ワーキンググループ設置
10年 5月 ~ 10年12月	旧図書館耐震診断（1階，2階で補強が必要とされる）
11年 1月	公文書館建設基本構想（平成5年3月）を断念し，旧図書館を活用することを決定
11年度	耐震補強・改修設計実施
12年度	耐震補強・改修工事実施
13年 4月 1日	宮城県公文書館条例・宮城県公文書館条例施行規則施行
13年 4月21日	宮城県公文書館開館（公文書館・みやぎNPOプラザ・生涯学習セミナールームの併設）



公文書館・みやぎNPOプラザ開館式

公文書保存の重要性や公文書館の必要性について、広く理解を得るための取り組みとして、次のとおり常設展や企画展を開催した。

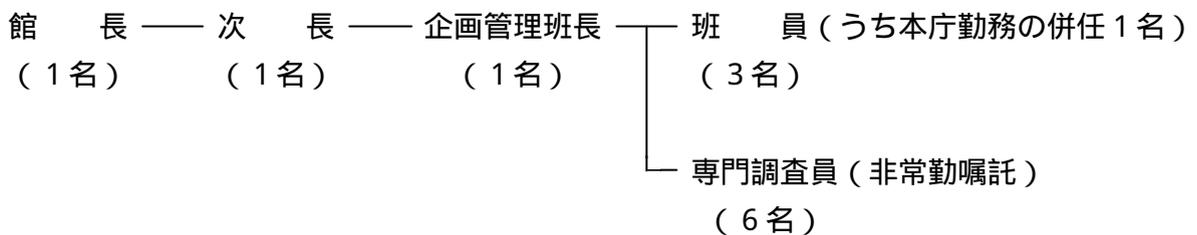
常設展 開催場所：県政情報センター

平成 7年 1月 ~	3月	「宮城県誕生の歴史を記した文書」開催
7年 5月 ~	8月	「公文書の移り変わり・・・そのかたち，書き方」開催
7年 9月 ~	12月	「公印の種類とその変遷」開催
8年 1月 ~	3月	「暦の話・・・太陽暦採用の経緯」開催
8年 4月 ~	7月	「公文書にみる学制発布と小学校の誕生」開催
8年 8月 ~	12月	「字（あざ）名 - - その起源と変遷 - - 」開催
9年 1月 ~	3月	「郡役所について - - その歴史と役割 - - 」開催

企画展

- 平成 5年 2月～ 4月 「昔の公文書」開催
場所：県庁広報展示室
- 5年 8月～ 9月 「公文書にみる水害・津波の記録」開催
場所：県庁広報展示室
- 6年 9月～ 7年 2月 「絵図に描かれた明治の村々」開催
場所：県庁ロビー・合同庁舎
- 7年12月～ 8年 2月 「公文書にみる戦後50年の県政のあゆみ」開催
場所：県庁ロビー・合同庁舎
- 8年12月～ 9年 2月 「公文書にみる昔の軌道」開催
場所：県庁ロビー・合同庁舎

4 組織（平成14年3月31日現在）



5 業務内容

公文書館における業務は、次のとおりである。

- （1）歴史的価値を有する公文書その他の記録の保存，閲覧その他利用に関すること。
- （2）歴史的価値を有する公文書その他の記録の調査研究に関すること。
- （3）県史に関すること。

6 予算

運営経費	31,083千円
広報普及活動費	443千円
県史編さん事業費	36千円
調査研究事業費	786千円
合計	32,348千円

7 施設・設備

（1）施設

イ 名称	宮城県公文書館
ロ 所在地	仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
ハ 施設の形態	みやぎNPOプラザ・生涯学習セミナールームとの併設施設
ニ 敷地面積	4,942.8㎡

ホ 構造 本館 鉄筋コンクリート造り 地下1階 地上3階建て
 書庫 " 地上3階建て(5層式)

ヘ 建築年度 本館 昭和42年11月30日建築
 書庫 昭和58年 7月20日建築

ト 建築面積 本館 1,153.39㎡
 書庫 246.35㎡

チ 延べ床面積 5,221.8㎡(本館4,040.7㎡ 書庫1,181.1㎡)

リ 専用面積 公文書館 2,390.24㎡
 みやぎNPOプラザ 1,261.56㎡
 生涯学習セミナールーム 242.25㎡

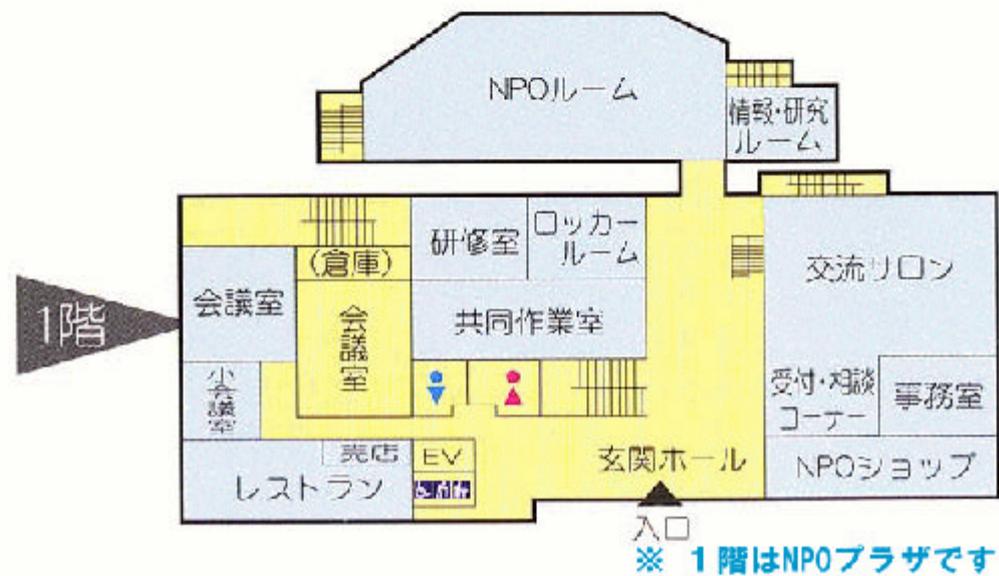
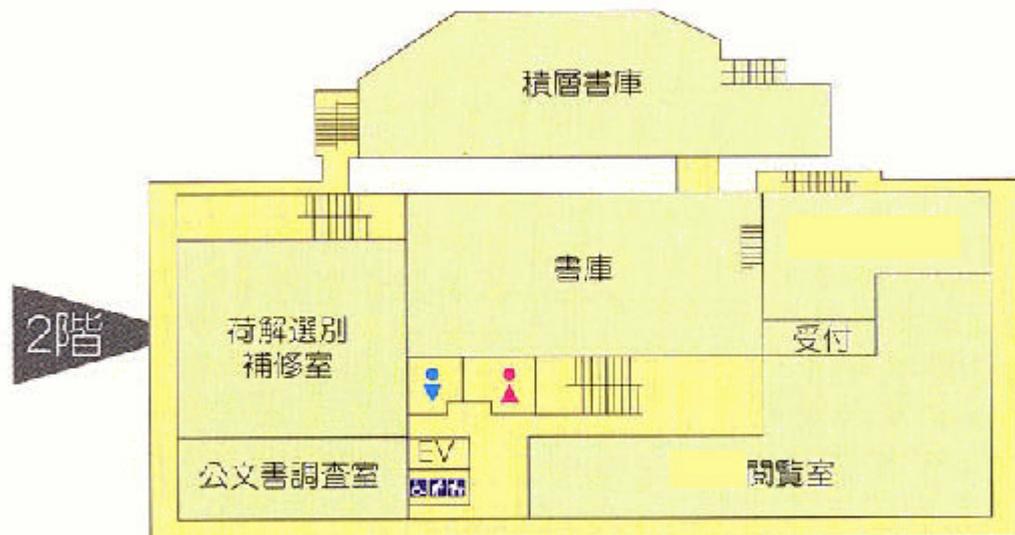
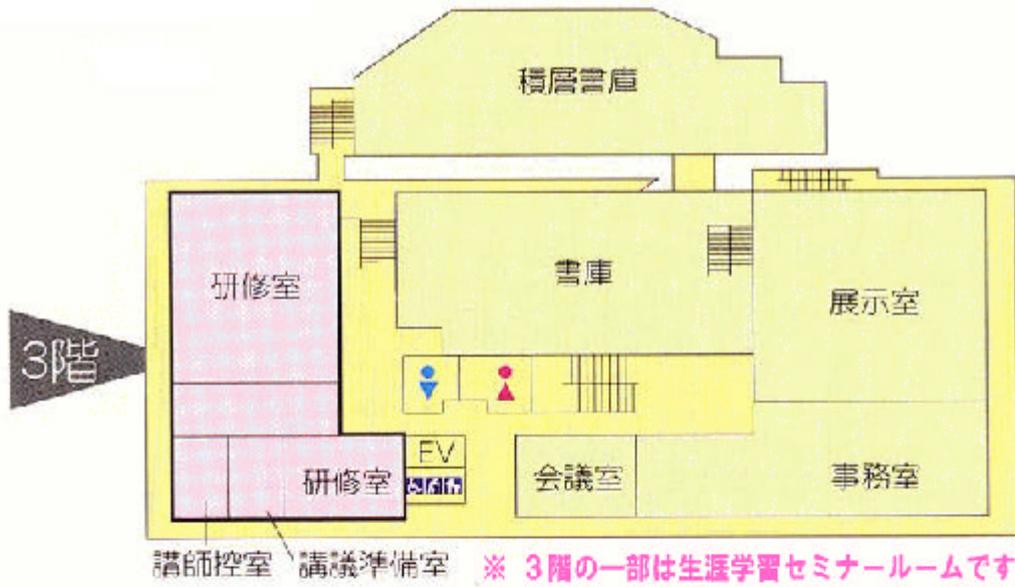
ヌ 主要室面積(公文書館部分)

室名		面積	室名		面積
2階	閲覧室	378.45 m ²	3階	事務室	146.40 m ²
	公文書調査室	75.60 m ²		展示室	194.25 m ²
	荷解選別補修室	175.62 m ²		会議室	37.80 m ²
	書庫	232.46 m ²		書庫	227.44 m ²
小計	862.13 m ²	小計	605.89 m ²		

室名		面積
書庫棟	2層	229.09 m ²
	3層	234.95 m ²
	4層	229.09 m ²
	5層	229.09 m ²
小計	922.22 m ²	

(2) 設備

- ・昇降機設備 2台
- ・閲覧用テーブル 16卓(幅120×奥行き75×高さ70)
- ・展示ケース(固定式) 3面
- ・ " (移動式) 5台(幅200×奥行き94×高さ80)
- ・マイクロリーダー 1台
- ・コンピュータ 7台(公文書検索用 2台)



平成13年度事業の概要

1 収蔵・収集状況

本庁・地方機関において保存期間の満了した文書（旧永年文書については30年経過したもの）の中から，歴史的・文化的価値ある文書として評価選別を行い収集した。

（H14.3.31現在）

区 分		開館時所蔵冊数 a	平成13年度引継収集冊数 b	平成13年度末 収蔵冊数 a+b	備 考
旧 永 年 文 書	明治期公文書	3,550	51	3,601	
	大正期公文書	1,632	20	1,652	
	昭和期公文書	12,750	2,794	15,544	
	平成期公文書	0	0	0	
	計	17,932	2,865	20,797	
有 期 限 文 書	昭和期公文書	2,454	106	2,560	H12,H13年度に歴分として選定したものを引継
	平成期公文書	789	401	1,190	
	計	3,243	507	3,750	
公 文 書 計		21,175	3,372	24,547	
絵 図 面		1,446	0	1,446	
行 政 資 料 等		0	496	496	
合 計		22,621	3,868	26,489	



積層書庫 2 階



積層書庫 4 階

2 調査

収蔵資料のうち、特に閲覧要望の多い戦前の文書について、他の文書に優先して資料内容や、非開示情報の有無、破損・汚損状況等を把握するため内容調査を行った。

開館時内容調査済冊数				平成13年度内容調査済冊数				平成13年度末内容調査済冊数			
計	公開	一部非公開	非公開	計	公開	一部非公開	非公開	計	公開	一部非公開	非公開
3,261	2,266	478	517	1,220	770	130	320	4,481	3,036	608	837

3 整理

閲覧台帳での検索は時間を要するなど不便であるため、パソコンによる検索システムを職員で独自に開発し、文書完結後30年以上経過したすべての所蔵資料名と、内容調査の終了した資料の登録を行った。

4 保存対策

(1) マイクロフィルム化・複製化状況

(H14.3.31現在)

区 分		開館時所蔵数 a	平成13年度作成数 b	平成13年度末 収蔵数 a+b	備 考
マ イ ク ロ	公 文 書	6	0	6	
	行政資料等	151	0	151	県公報等
	絵 図 面 等	14	0	14	
	計	171	0	171	
複 製	絵 図 面	175	18	193	

(2) 書庫のくん蒸

当館の書庫は毒性の強い「臭化メチル」等は使用できない構造となっているため、毒性が弱いとされる薬剤を使用しくん蒸を行った。

薫蒸期間：平成13年12月17日～19日

使用薬剤：ミラクンS（ピレスロイド系フェノトリン）

5 利用状況

完結後30年経過した文書から個人情報等に配慮しながら広く公開し、閲覧や複写サービスを行った。

(1) 来館による利用状況

項目 月	閲覧室利用者数 a	資料閲覧利用 冊数	複写件数	展示室入場者 数 b	入館者数合計 a+b
4月	138	29	2	155	293
5月	154	90	23	172	326
6月	151	63	12	169	320
7月	109	112	20	107	216
8月	86	98	19	110	196
9月	75	86	5	125	200
10月	118	23	10	166	284
11月	79	73	17	108	187
12月	78	9	4	86	164
1月	83	85	2	476	559
2月	186	177	42	747	933
3月	130	200	30	472	602
合計	1,387	1,045	196	2,893	4,280
1日あたりの平均 (稼働日数288日)	4.82	3.63	0.68	10.33	14.86



閲覧室受付カウンター



検索用パソコン

(2) 館外貸出状況

貸出先・貸出期間	貸出資料・貸出理由
東北歴史博物館 H13.4.17～6.17	地理 明治廿一年 特別展「ふるきいしぶみ - 多賀城碑と日本古代の碑 - 」展示
東北大学史料館 H13.10.9～11.6	学校(官立学校・県立学校・私立学校)明治24年 他1点 企画展「天は東北 山高く - 旧制二高と仙台 - 」展示
東北歴史博物館 H13.10.5～12.10	鉄道関係書類綴 鉄道事務係 明治16年～17年 他2点 テーマ展「東北本線事始め」展示
亶理町立郷土資料館 H13.7.19～9.30	磐城国分ヲ岩前県へ合併ニ付事務委引渡諸綴明治9年他10点 企画展「亶理町と北海道伊達市」第1部～亶理伊達家の北海道移住～ 展示
東北歴史博物館 H14.3.27～5.30	鉄道軌道 秋保軌道敷設 大正4年 他2点 特別展「観光旅行 - 大正～昭和初期のツーリズム - 」展示

(3) 出版物掲載等許可状況

利用者	年月日	出版物等	使用資料
仙台市博物館 市史編さん室	13.7.8	仙台市史	元仙台藩造紙幣壬申年租税金上納分御引渡調 他36点
柏木 敦	13.8.9	近代日本教育史料研究会「かわら版」	学事(学務雑事,明治21～22年)
宮城県中学校 社会課研究会	13.11.9	宮城県の調査	宮城県史 2 近世史
柏木 敦	13.12.23	日本学術振興会科学研究費補助金研究中間報告書	学事(学務雑事,明治21～22年)
仙台市広報課	14.3.19	仙台市政だより4月号	宮城郡仙台町地引図
株式会社 作品社	14.1.25	いまに語りつぐ「日本民話集」第二集「笑い話・世間話」	宮城県史 21 民俗

(4) その他の利用状況

レファレンス件数		ホームページアクセス件数	視 察
(件)	うちメールでの件数	(件)	(人)
24	14	約4,000	34

6 広報普及

県民に当館の存在を広く知ってもらうとともに、公文書等の歴史資料を保存し、後世に伝えていくことの重要性について、県民の理解を得るため、企画展・常設展の開催や、市町村公文書担当職員を対象とした研修会の開催、地元で開催された「みやぎのまつり」への参加。

また、ホームページを開設し、公文書館の存在を広くPRした。

(1) 展示(公文書館展示室)

区分	テーマ	期間	入館者数
開館記念 企画展	21世紀への橋渡し ～ 公文書館史料にみる明治・大正昭和期の県政のあゆみ～	平成13年 4月21日～ 7月25日	603人
常設展	明治前期の公文書等展示	平成13年 8月4日～ 1月10日	605人
企画展	公文書にみる昔の軌道・鉄道	平成14年 1月22日～ 3月10日	1,574人
常設展	明治期の出来事と村々の絵図	平成14年 3月16日～	111人 (3/31まで)



企画展「公文書に見る軌道・鉄道」



常設展



(2) 公文書管理保存研修会

内 容	対 象 者	期 日	参 加 者
<ul style="list-style-type: none"> ・「公文書館法と公文書館の役割」 講師：国立公文書館 酒井勤氏 ・歴史的・文化的価値のある公文書の選別と管理について 講師：公文書館職員 ・市町村の行政文書の管理・保存について 講師：公文書館職員 ・宮城県公文書館の概要について 講師：公文書館職員 	市町村文書担当職員	平成13年12月 5日	47人



研 修 会 風 景

(3) みやぎのまつりへの参加

地元で開催された「みやぎのまつり」に参加し、パネル展示やパンフレットを配布した。また、クイズラリーを行いNPO団体等から提供のあった記念品を配布する等地域住民に対して公文書館のPRを行った。



「みやぎのまつり」出展

(4) ホームページの開設

平成13年6月から「宮城県公文書館のホームページ」を開設し、公文書館の仕事、施設概要、利用案内、企画展・常設展の案内等公文書館の存在を広くPRした。

また、多くの方に興味をもってもらえるよう企画展開催や、常設展の展示内容に併せホームページ内容の定期的な更新を行った。

ホームページ上で、メールによる文書検索サービスを開始したが、利用者から好評であり特に県外からの利用が多くあった。

平成14年度事業計画

1 収蔵・収集

本庁・地方機関で保存期間満了した文書から，歴史的文化的価値ある文書を評価選別し収集する

2 調査

レファレンス業務や閲覧申請等に迅速なできるよう，所蔵資料の内容調査を進める。

3 整理

現在の検索システムは職員の操作により検索を行っているが，来館者が自由に検索できるよう改善を図る。

4 保存対策

- (1) 絵図面のカラー複製化
- (2) 公文書のマイクロ写真複製化
- (3) 書庫の薫蒸

5 広報普及

- (1) 企画展開催
- (2) 公文書館貴重文書展（宮城県庁18階広報展示室）
- (3) 市町村担当職員研修

6 刊行物発行

- (1) 公文書館だより（ホームページ上）
- (2) 公文書館年報（ホームページ上）